

本日発表：Infosys Topaz - 生成 AI を使用した グローバル企業のビジネス価値を加速する AI ファースト製品

・ AI ファーストのスペシャリストとデータストラテジストが運営する 12,000 以上の AI ユースケース、150 以上の事前トレーニングされた AI モデル、10 以上の AI プラットフォーム

・ 「責任ある設計」アプローチにより、妥協のない倫理、信頼、プライバシー、セキュリティ、コンプライアンスの確保

ベンガルール（インド） - 2023 年 5 月 23 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーであるインフォシス（NSE, BSE, NYSE: INFY）は本日、生成 AI テクノロジーを使用した AI ファーストのサービス、ソリューション、プラットフォームのセットである Infosys Topaz を発表しました。このプラットフォームは、人々、企業、コミュニティの潜在能力を最大限に引き出し、前例のないイノベーション、つながったエコシステム、効率化によって価値を創造するために役立ちます。Infosys Topaz は、Infosys が採用している AI フレームワークを活用し、人々がコグニティブなソリューションを提供するために価値創造を加速する AI ファーストのコアとなるアプローチを構築します。

成長の加速: Infosys Topaz は、Infosys Cobalt クラウドのパワーとデータ分析を AI を活用したビジネスに統合し、成長を活性化するコグニティブ ソリューションと直感的なエクスペリエンスを提供します。12,000 を超える使用例は、新しいアイデアを生み出し、迅速に追跡するのに役立ちます。たとえば、食品飲料チェーンは Infosys Topaz を活用して、新しいパートナーから受信する未接続のデータ信号を自律的に接続し、95% 以上の精度で優れた店舗外の消費者エクスペリエンスを提供しました。Infosys Topaz Generative AI Labs は、すぐに使用できる業界ソリューションを提供して、AI の価値をより多くの機能にもたらし、企業の認知度の向上と高速化を支援します。

連携したエコシステムの構築: Infosys Topaz はデータと知識を民主化し、連携したエコシステムの参加者に付加価値をもたらします。これにより、破壊的なビジネスモデル、AI を活用した製品やサービス、新しい収益の流れを創造することが可能となります。たとえば、ある国内の鉄道会社は Infosys Topaz を活用して、最終目的までの物流機能において、利益を上げながらアジャイルなバリューチェーンを構築するためのスマートハブを作りました。Infosys Topaz は、100 以上の業界ネットワークとパートナーシップのエコシステムの支援を通じて、様々な産業の企業に活用されます。

スケールでの効率化の実現: Infosys Topaz は企業全体での効率化を実現します。Infosys の AI ファーストの専門家は、ビジネスの俊敏性のためにスマートなツール、プラットフォーム、自律型ソフトウェアエンジニアリングを利用しています。Infosys Topaz は、将来のユーザーパーソンナ、データアーキテクチャ、エンジニアリングの設計図を再構築することで、組織全体でのシナジーを生み出します。また、企業の知識を生成型 AI によって活用することで、自己監督能力の構築にも貢献します。たとえば、あるイギリスの銀行は Infosys Topaz を活用して、週に 1 週間かかっていた 2,000 以上の顧客サービスプロセスをほぼリアルタイムで運用するように変革しました。

Infosys の CEO 兼 MD である Salil Parekh は、「Infosys Topaz は私たち自身とおお客様の潜在能力を最大限に引き出すのに役立っています。効率と生産性の向上プログラムへのお客様からの強い関心を感じています。同時に、ビジネスは将来の成長を確保したいと考えています。Infosys Topaz によって、ジェネレーティブ AI プラットフォームとデータソリューションの力がもたらされ、私たち自身のビジネス運営には大きな利益がありました。今日、私たちのお客様は Infosys Topaz とともに、収益を創出する機会を拡大し、成長の道筋を築いています。」と述べています。

Infosys Topaz は、さまざまな業界や地域の企業にとって貴重な資産です。

フランステニス連盟 (FFT) のゼネラルマネージャー、Caroline Flaissier 氏 は、「Infosys Topaz を利用して、選手、視聴者やファン、ジャーナリスト、放送パートナーが体験する感動を向上させることに喜びを感じています。ローランギャロスでは、AI を最初に採用するアプローチを常に信じてきました。AI による動画は選手がパフォーマンスや試合戦略を分析するのに役立ち、AI 支援ジャーナリズムはジャーナリストがより洞察に富んだレポートを作成するのに役立ちます。AI 駆動の洞察によるマッチセンターは、ファンが数字以上のゲームの微妙なニュアンスを理解するのに役立ちます。これらのイノベーションは、ローランギャロスの体験を最大化するのに役立ち、2022 年に更新された Infosys とのパートナーシップは、私たちのトーナメントをスポーツイノベーションの最先端に保つために重要な役割を果たしています。」と述べています。

ブリティッシュ・テレコムの子会社である Hemanth Adapa 氏 は、「お客様に価値を提供するための取り組みの一環として、ブリティッシュ・テレコムでは、ネットワークのパフォーマンス、持続可能性、セキュリティなど、さまざまな領域において、Infosys Topaz を活用して AI による予測分析を提供しています。これはお客様から認められ、高く評価されており、これまでにない信頼性でミッションクリティカルなサービスを強化することができるようになりました。」と述べています。

IDC の Analytics and Intelligent Automation Services のリサーチディレクター、Jennifer Hamel 氏 は、「企業が効率向上から成長推進までのビジネスの課題を解決するために AI を求める中で、エンタープライズスケールのインパクトを創出するためには、AI を活用したイノベーションは特定の目的に合わせて作られる必要があります。Infosys Topaz のような提供物は、企業にサービス、フレームワーク、ソリューション、プラットフォームを提供し、ビジネスと IT プロセスを再設計するだけでなく、AI サービスとソリューションからの ROI を加速するための支援を行います。」と述べています。

Infosys は自社の変革においても AI ファーストのアプローチを取っています。Infosys Topaz を活用して、ジェネレーティブ AI、分析、クラウドの力を取り入れ、市場提供の進化や企業変革を加速し、マイクロ変化からの付加価値を構築して、クライアントサービスの向上、ビジネスプロセス、ソフトウェアエンジニアリングの再設計、生産性の向上を図っています。現在、約 50,000 の再利用可能なインテリジェントサービスが 25,000 以上のインスタンスで活用され、従業員の能力を拡大しています。

Infosys Topaz の概要については、以下のビデオをご覧ください。

Infosys Topaz の詳細については、www.infosystopaz.com をご覧ください。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代のデジタルサービスとコンサルティングの世界的リーダーです。30 万人以上の従業員が、人々や企業、コミュニティの可能性を最大限に引き出し、次の機会を創造するために活動しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステムと運営の管理経験を持ち、クラウドを活用したデジタルトランスフォーメーションに乗るクライアントを 50 以上の国で専門的にサポートしています。AI によるコアを提供し、アジャイルなデジタルを規模化してビジネスを強化し、常に学習し続けることで持続的な改善を推進するために、デジタルスキルや知識、アイデアをイノベーションエコシステムから転送します。私たちは、多様な才能が包括的な職場で繁栄する、適切に統治され、環境に配慮した組織であることに深い責任を感じています。

www.infosys.com を訪れて、Infosys (NSE、BSE、NYSE: INFY) があなたの企業が次に進むためにどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドと米国での人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2021 年会計年度（2022 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

詳細のお問い合わせ先：

インフォシス 東京オフィス

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com